

感染と予防

prevention of Infection

No.01

創刊号

感染症に対する正しい知識と正しい予防策を身につけよう

創刊にあたって

戦後、赤痢患者がピークを迎えた年にサラヤは誕生し、手洗いはじめ、時代に沿った感染症対策・予防衛生用品をご提案してまいりました。

近年、毎年流行するインフルエンザやノロウイルスの対策に関心が集まっていますが、世界的な交通網の発達、インバウンドの増加、環境変動等により、国内で侵入や発生が考えられなかった感染症が起こり得る時代がやってきました。このような中で「知る」ことは予防の第一歩となります。皆様に正確な情報をお伝えし、コミュニケーションをより一層深めるため、この度、『感染と予防』を復刊することとなりました。医師であり、実際に海外現地で治療・調査にあたり、また、検疫の最前線で活躍された岩崎 恵美子先生に、正しい感染症予防対策の知識をご執筆いただきます。

皆様のお役に立つ情報提供に努めてまいりますので、『感染と予防』をご愛読いただき、またご意見いただきます様、何卒よろしくお願い申し上げます。

東京サラヤ株式会社 サニテーション事業本部 公衆衛生部

統括部長 江良 慎也

感染症と私

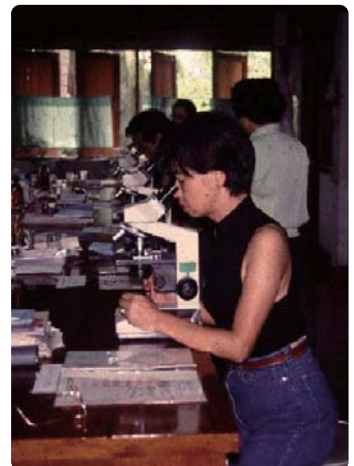
Profile



株式会社健康予防政策機構 代表 岩崎 恵美子

新潟大学医学部卒業後、耳鼻咽喉科医師を経て、インド、タイ、パラグアイで医療活動を行う。1998年より、厚生労働省、成田空港検疫所、企画調整官仙台検疫所長を歴任。その後、WHOの要請でウガンダ現地にてエボラ出血熱の診療・調査に従事。またSARS発生時には日本代表として世界会議に出席。2007年からは仙台市副市長に就任。インフルエンザ対策として「仙台方式」を提唱し、日本の新型インフルエンザ対策の基盤を構築する。現在は、感染症対策のプロとして、新型インフルエンザをはじめとする感染症対策の啓発活動を行っている。

私が感染症に興味を持つようになったきっかけは、口腔がんの専門家として渡ったインドの僻地での発熱患者との出会いでした。インドでは公衆衛生上、口腔がんは大きな問題でした。その対策の専門家として私は呼ばれ、検診、治療に駆け回っておりました。その最中、高熱で苦しむ患者のことを現地の人から相談されましたが、診断も治療の準備もない私は、そのままその地を離れるしかありませんでした。患者はマラリアに罹っていたと聞かされたのは、数日後のことでした。その時、自分の頭には「マラリア」の病名も浮かんでいなかったことを恥じました。私は、日本では20年以上耳鼻科医として、感染症の原因となる病原体の体内への侵入口である鼻、咽喉、口腔などを診て、感染症の治療もしてきたのですが、その知識の浅さを知らされました。それ以来、私は熱帯地域の感染症に興味を持ち、インドでの任期が終わるとすぐに、タイの大学に入学し、感染症の基礎である熱帯医学を学ぶことを決めました。





現在、人の健康を脅かしている感染症の多くは動物由来のもので、人が森林などの開発を進め、人と動物との距離が近くなった結果、動物の感染症に人が罹るようになったものです。

私達の周りでは、一年中、さまざまな病気が流行しています。多くの人が冬場に罹りやすいインフルエンザ、子供の間で流行りはじめて家族に拡がって行くノロウイルス下痢症、そして、アフリカなどの途上国で時々発生する、エボラ出血熱などの重篤な病気など、それらも最初は動物に由来した感染症です。現代社会のようにグローバル化した世界では、人は地球上を自在に動くことができます。人と共に動く感染症も、容易に国境を越えて動くのです。その結果、感染症が地球上に拡がって行きます。

このような時代の中で生きて行くために、私達に求められていることは、感染症に対する正しい知識と正しい予防策を身につけることです。

デング熱

デング熱はデングウイルスを持った蚊に刺されて罹ります。アジアの熱帯、亜熱帯地域では日常的に発生し、特に、子供の場合にはデング出血熱になり、死亡することもあります。日本では東南アジアなどを旅行中に蚊に刺されて罹り、帰国後に見つかることは時々ありましたが、一昨年、代々木公園に行った人がデング熱に罹り、大騒ぎになりました。

デング熱流行地発の航空機にデングウイルスを持った蚊が紛れて来て、日本で繁殖し、それらに刺されてデング熱に罹る可能性もあるので、蚊の繁殖場となる水たまりなどを無くすることが大切です。



ネッタイシマカ



ヒトスジシマカ



今回、このように定期的に紙面で情報を発信することで、感染症の知識をより多くの人々に知ってもらう機会を得られたことは、感染症対策にかかわる仕事をしている者にとって大変ありがたく、今後もこの紙面を有効に活用してまいりたいと考えています。

2010年にWEBへと一本化を図り継続しておりました「感染と予防」ですが、この度お客様からの要望をへて、また新たに紙面へと復刊いたしました。情報を集約しコンパクトな形へ、より身近な双方向コミュニケーションを目指し、今後も定期的にお届けしていきますので、次号をお楽しみにお待ちしております。

感染症に関する素朴な疑問・質問をお持ちの方は「感染と予防」編集部までお寄せください。採用された質問は、えみこ先生に回答いただき、「感染と予防」紙面上、WEB上に掲載させていただきます。

編集チーム
のつばやき

感染症や食中毒対策に！女子スタッフのおすすめ！

幅広いウイルスと細菌に効く☆
効果の高い「酸性アルコール消毒剤」です。



速乾性手指消毒剤
ウィル・ステラVH
(指定医薬部外品)

アルコールなのに
手がしっとり♡

ご質問・ご感想はこちらまでどうぞ ✉ kansen-yobo@saraya.com 感染と予防web 🔍 pro.saraya.com/kansen-yobo

SARAYA
<http://pro.saraya.com/sanitation/>

サラヤ株式会社
東京サラヤ株式会社

東京サラヤ株式会社 公衆衛生部内「感染と予防」編集部
〒140-0002 東京都品川区東品川1-25-8 TEL:03-5461-8163
Copyright© 2016 Saraya Co.,Ltd. All Rights Reserved. 本資料の無料転載を禁じます。